

見どころ案内

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示
がしてあります。

アヤメ (アヤメ科)

東アジア・シベリア原産。ハナショウブやカキツバタと違い、明るい草原に生育する植物です。

ハマナシ (バラ科)

日本原産の野生バラで、ハマナスとも呼ばれます。山陰地方にも自生がありますが、知床旅情の歌のイメージが強く、北海道の花としてよく知られています。

タツタナデシコ
シギタリス
宿根ハーベナ

ヒスイカズラ

バニラ (ラン科)

一つの花の寿命はわずか1日です。花や実そのものにバニラの香りはなく、加工(発酵)が必要です。

ルピナス (マメ科)

別名はノボリフジ。北米原産の園芸植物で、フジの花を逆さまにしたような花穂が見どころです。

★大温室で見頃の花 アンズリウム、タコノキ(実)、ピョウタコノキ(実)、ナンヨウザクラ、ブーゲンビリア、タッカ・シャントリエリ、洋ラン各種、カカオ(花・実)、バナナ各種(花・実)、[ベニノキ、ソーセイジノキ、コショウ、ククイノキ、パパイア、チューインガムノキ、黄金ココヤシ(以上は実)]、ツンベルギア各種、クロツグ、カブダチクジャクヤシ、ベニバナトケイソウ、メディナラ '火の鳥'、ヤコウボク、パボニア・グレヒリー、ヒメアリアケカズラ、ヤエサンユウカ

展示会のご案内

① 展示資料館 (4/6~5/6)

ボタニカルアート展

② 展示温室

春の洋ラン展 (4/27~5/6)

セッコク・長生蘭展 (5/8~5/13)

③ 屋外展示場 (4/27~5/6)

クレマチス展

チャンチンモドキ

(ウルシ科)

インド北部、タイ及び中国南部などの暖地(日本では福岡が北限)が原産の珍しい樹木。葉の似ているチャンチンはセンダン科です。

アイラトピカスラ、アオバナエンジュ、ロビニア 'カスクルージュ'

イワカラクサ

(オオバコ科)

ピレネー山脈やヨーロッパアルプスの岩場に自生する高山植物。白と桃色の花がたくさん咲いています。

ネモフィラ (ムラサキ科)

6日(月・祝)までネモフィラウィークを開催(展示は7日まで)。森のカフェでは青いお茶(バタフライピーティー)を販売しています。

シロバナムシヨケギク (キク科)

古くは、蚊取り線香の原料として乾燥させた頭花が用いられました。地中海沿岸(バルカン半島)原産で、「除虫菊」とも呼ばれます。